

2026年3月期 第2四半期決算説明資料



黒田グループ株式会社

2025年11月13日

1. 2026年3月期 中間期決算概要

- 1-1 2026年3月期 中間期決算実績（IFRS）
- 1-2 対前年同期 営業利益増減要因
- 1-3 連結財政状態 / 連結キャッシュ・フロー
- 1-4 【セグメント別 業績】 製造事業
- 1-5 【セグメント別 業績】 商社事業

2. 2026年3月期 業績予想

- 2-1 2026年3月期 業績予想
- 2-2 セグメント別 業績予想

3. Appendix

- 3-1 四半期毎売上収益・営業利益推移（連結）
- 3-2 四半期毎売上収益・営業利益推移（事業別）
- 3-3 トピックス：日動電工 新本社移転

1. 2026年3月期 中間期決算概要

1-1 2026年3月期 中間期決算実績 (IFRS)

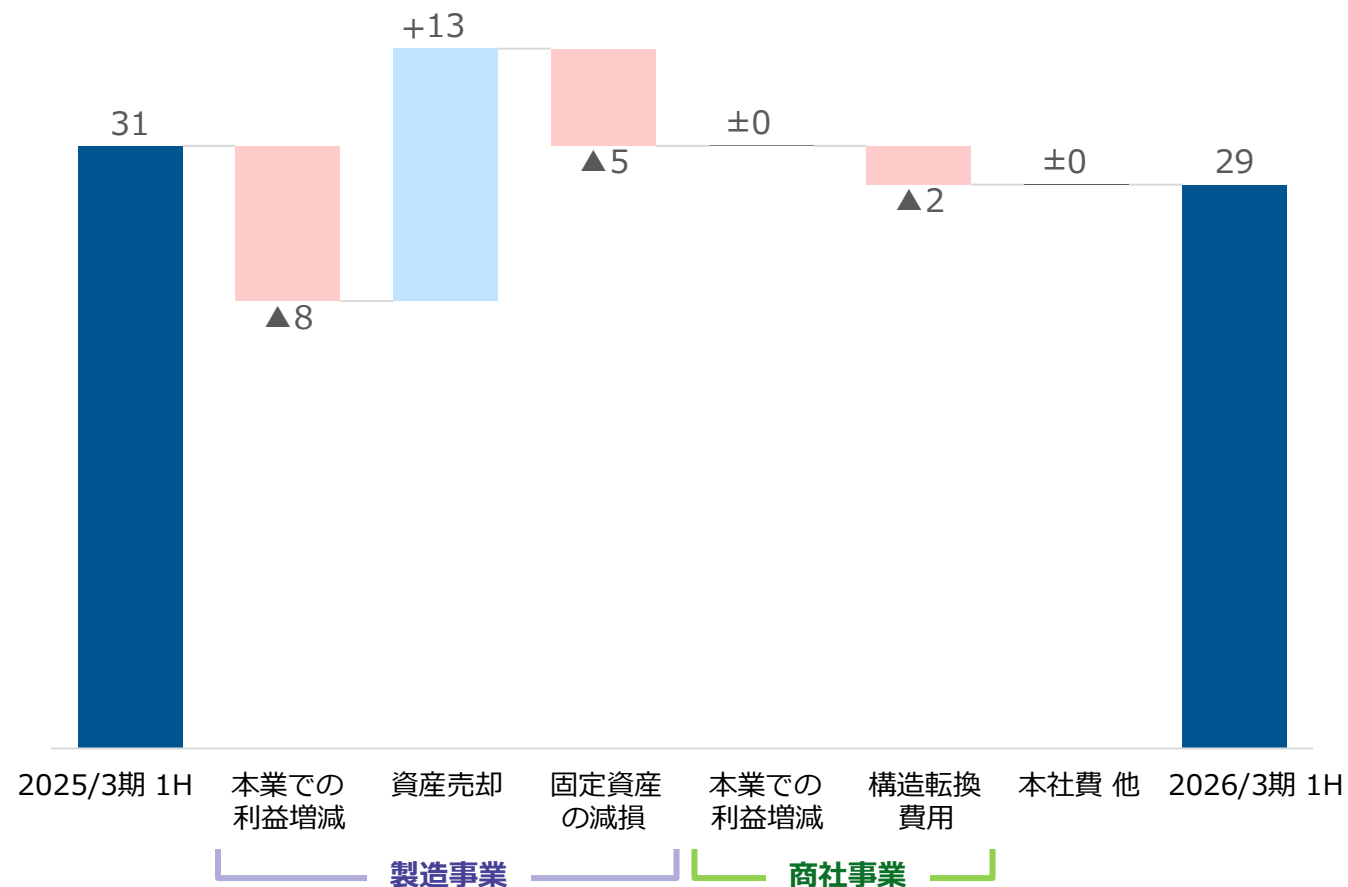
単位：億円	2025/3期 1H	2026/3期 1H	前年同期比
売上収益	604	595	▲1.5%
営業利益 (%)	31 (5.2%)	29 (4.8%)	▲8.1% (▲0.4pp)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	23	12	▲49.4%
自己資本比率	40.1% (2025/3期末)	39.4%	▲0.7pp
フリーキャッシュフロー	20	22	+14.1%

- 売上収益は主に前期末におけるHDD事業での一部顧客向けフィルター販売終了により減収。商社事業はほぼ前年同期並み。
- 営業利益は前年同期比2億円の減益。電設資材事業に係る不動産売却益約13億円を計上したものの、HDD事業でのフィルター販売終了に伴う減益に加え固定資産の減損や構造転換費用などの一過性のコストが嵩んだ。
- 通期の業績見通しに対しては概ね計画通りに進捗。

1-2 対前年同期 営業利益増減要因

営業利益変動要因

(億円)



概況

- グループ全体の営業利益は約2億円減益の29億円。
- 製造事業はHDD部品事業での減収や一部事業でのコスト増などにより本業では約8億円の減益。また、固定資産売却益約13億円、固定資産減損損失約5億円を計上。
- 商社事業は車載事業を中心に堅調に推移し、本業では前年同期並み。第1四半期に一過性の構造転換費用約2億円を計上。
- 本社費用は前年同期並み。

1-3 連結財政状態 / 連結キャッシュ・フロー

連結財政状態

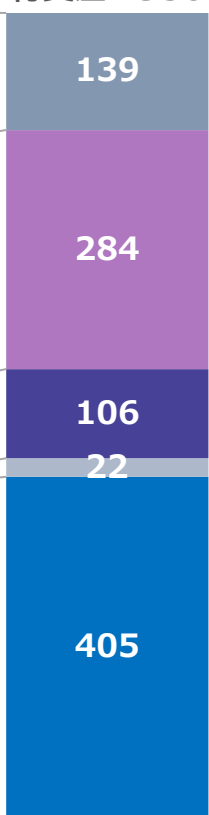
資産

総資産 : 958



2025/3期末

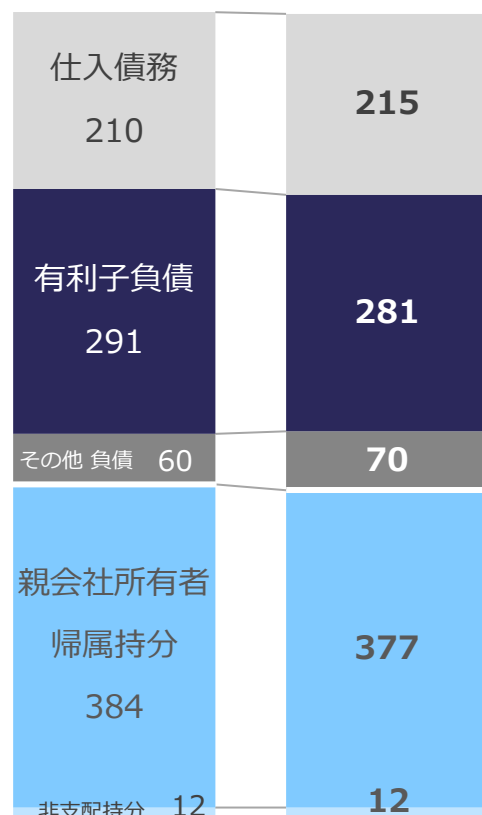
総資産 : 956



2026/3期 1H末

負債・純資産

(億円)

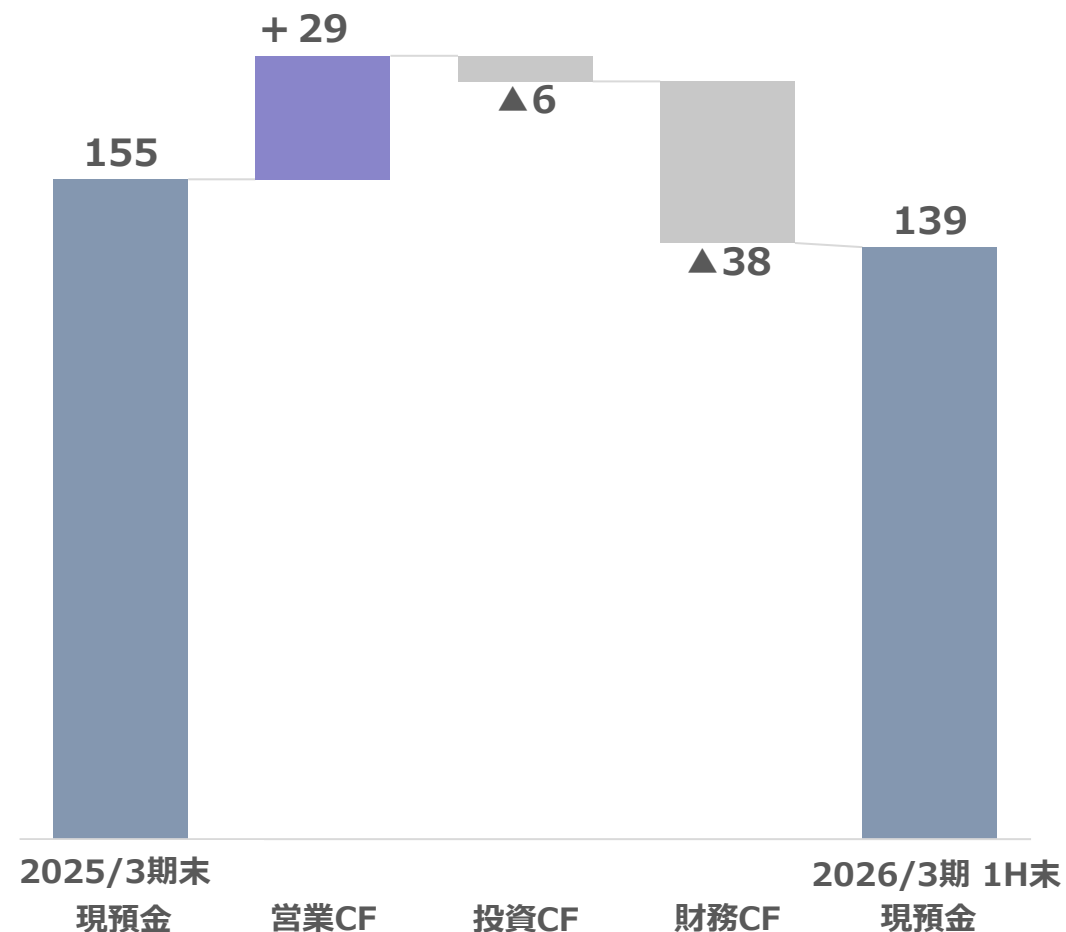


2025/3期末

2026/3期 1H末

連結キャッシュ・フロー

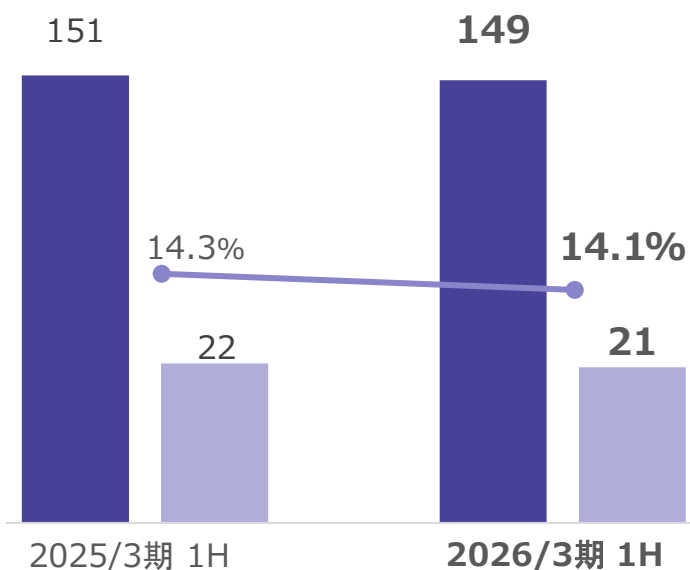
(億円)



1-4 【セグメント別 業績】 製造事業

業績推移

■ 売上収益 ■ 営業利益*¹ —●— 営業利益率 (億円)



*1: グループ共通損益は含まず

事業別概況

液晶生産材

- 主要製品である配向膜印刷版は第2四半期に入り増収傾向となっており、中間期でも前年同期比で増収。但し液晶生産材全体では、自動化設備における一部顧客向け設備の計画延期などにより減収。
- 営業利益は配向膜印刷版の品質課題対応費用や、中国現地体制強化のための先行費用の影響により、前年同期比で減益。

電設資材

- 現場施工員不足の状況が続いているものの業界の需要は底堅く、原価増に伴う価格転嫁を進めた結果、売上収益は前年同期比で増加。
- 新本社への移転に伴う諸費用が発生した一方、旧拠点の不動産売却益約13億円を計上し前年同期比では増益。

HDD部品

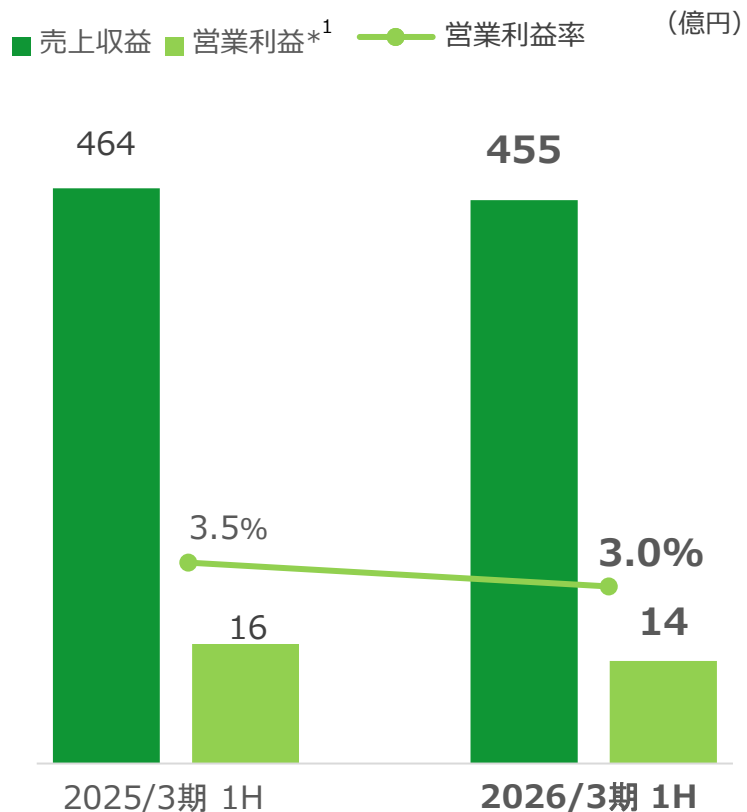
- 前年同期比で減収減益。期初からの一部顧客へのフィルター販売終了が影響。
- データセンターでの高い需要が続いており、シール・ラベルは前年同期比で増収。

その他

- その他製造事業は売上収益は増収となったが、利益は若干減益。
- 自動車用樹脂成形事業で固定資産の減損約5億円を計上。

1-5 【セグメント別 業績】 商社事業

業績推移



*1: グループ共通損益は含まず

事業別概況

車載

- 日系自動車メーカーの中国市場での苦戦の影響はあるものの、プリント基板を含む電子部品を中心に販売は堅調。
- 現時点では米国の通商政策や、中国のレアアース輸出管理強化による大きな影響なし。

国内/海外
地域

- 空調、OA機器及び一部のFA機器関連向けの高付加価値部材の売上は増加したが、中国の景気減速に伴う同国内向け各種部材や、国内向けEV関連部材等の売上は低調に推移。
- 第一四半期に中国子会社での構造転換費用を約2億円計上。一過性の要因を除いた損益は前年同期並み。

2. 2026年3月期 業績予想

2-1 2026年3月期 業績予想

今期業績および配当金の予想は前回（2025年8月8日）
発表時から変更はございません。

単位：億円		2025/3期 実績	2026/3期 予想	前年度比
売上収益		1,213	1,210	▲0.3%
営業利益 (%)		59 (4.9%)	67 (5.5%)	+13.0% (+0.6pp)
親会社の所有者に帰属する 当期利益		39	40	+0.2%
自己資本比率		40.1%	40.1%	±0.0pp
ROE		10.8%	10.4%	▲0.4pp
ROIC		6.9%	7.6%	+0.7pp
一株当たり 配当金	中間期	-	30円	+1円
	期末	60円	31円	(年間合計)

2-2 セグメント別 業績予想

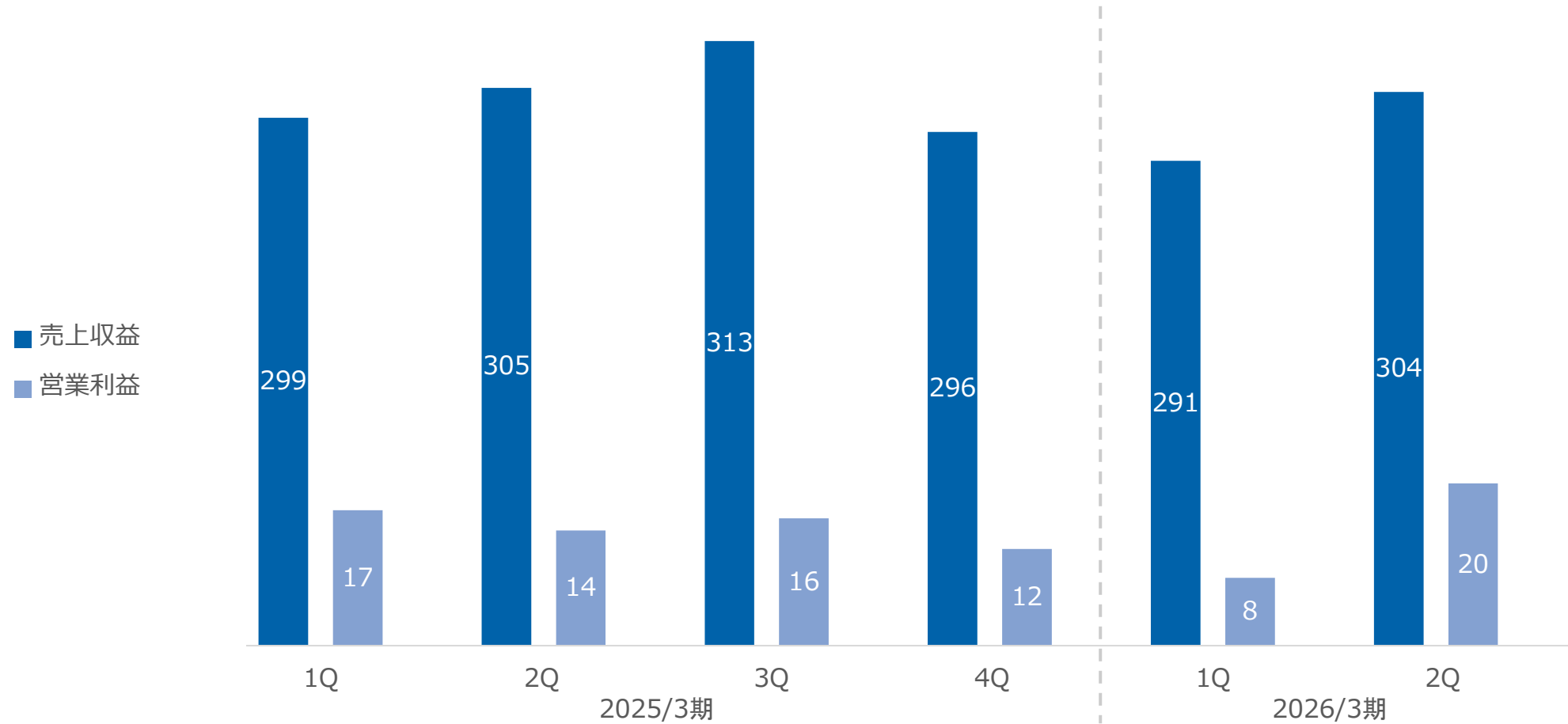
今期のセグメント別業績予想は前回（2025年8月8日）
発表時から変更はございません。

単位：億円	売上収益			営業利益 (%)		
	2025/3期 実績	2026/3期 予想	前年度比	2025/3期 実績	2026/3期 予想	前年度比
製造事業	304	316	+3.8%	41 (13.4%)	53 (16.8%)	+29.7% (+3.4pp)
商社事業	929	932	+0.3%	33 (3.5%)	25 (2.7%)	▲23.6% (▲0.8pp)
調整	▲20	▲ 38	+88.2%	▲14	▲ 11	▲23.1%
合計	1,213	1,210	▲0.3%	59	67	+13.0%

3. Appendix

3-1. 四半期毎売上収益・営業利益推移（連結）

（億円）

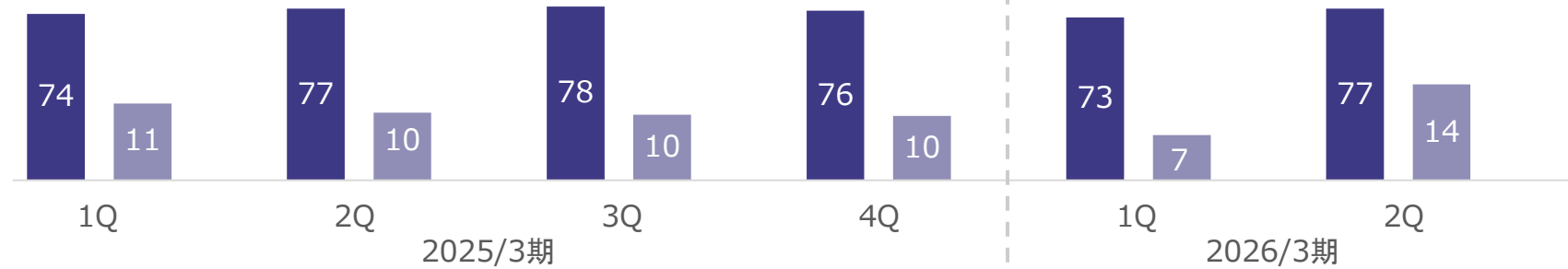


3-2. 四半期毎売上収益・営業利益推移（事業別）

製造事業

（億円）

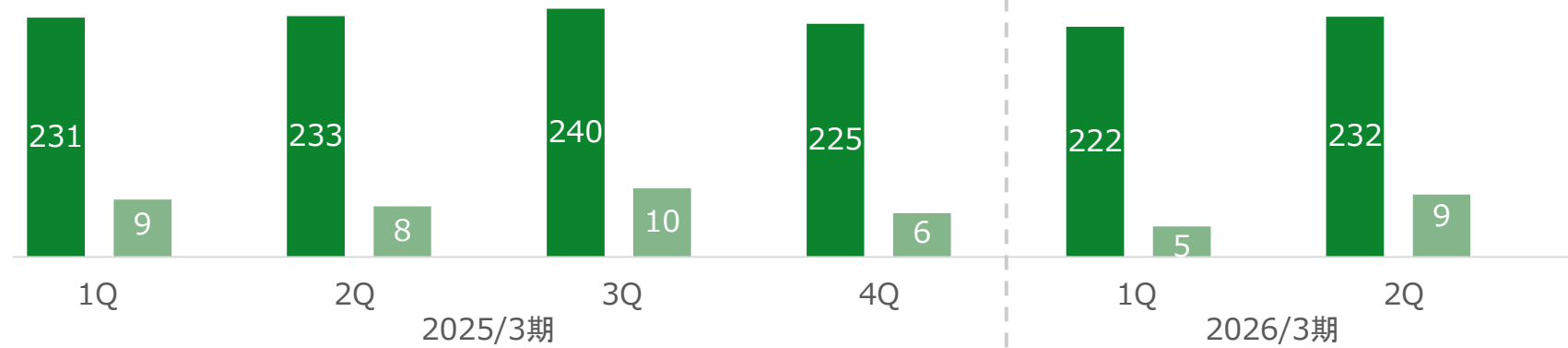
■ 売上収益
■ 営業利益



商社事業

（億円）

■ 売上収益
■ 営業利益



*グループ共通損益は含まず

3-3. トピックス：日動電工 新本社移転

新本社社屋



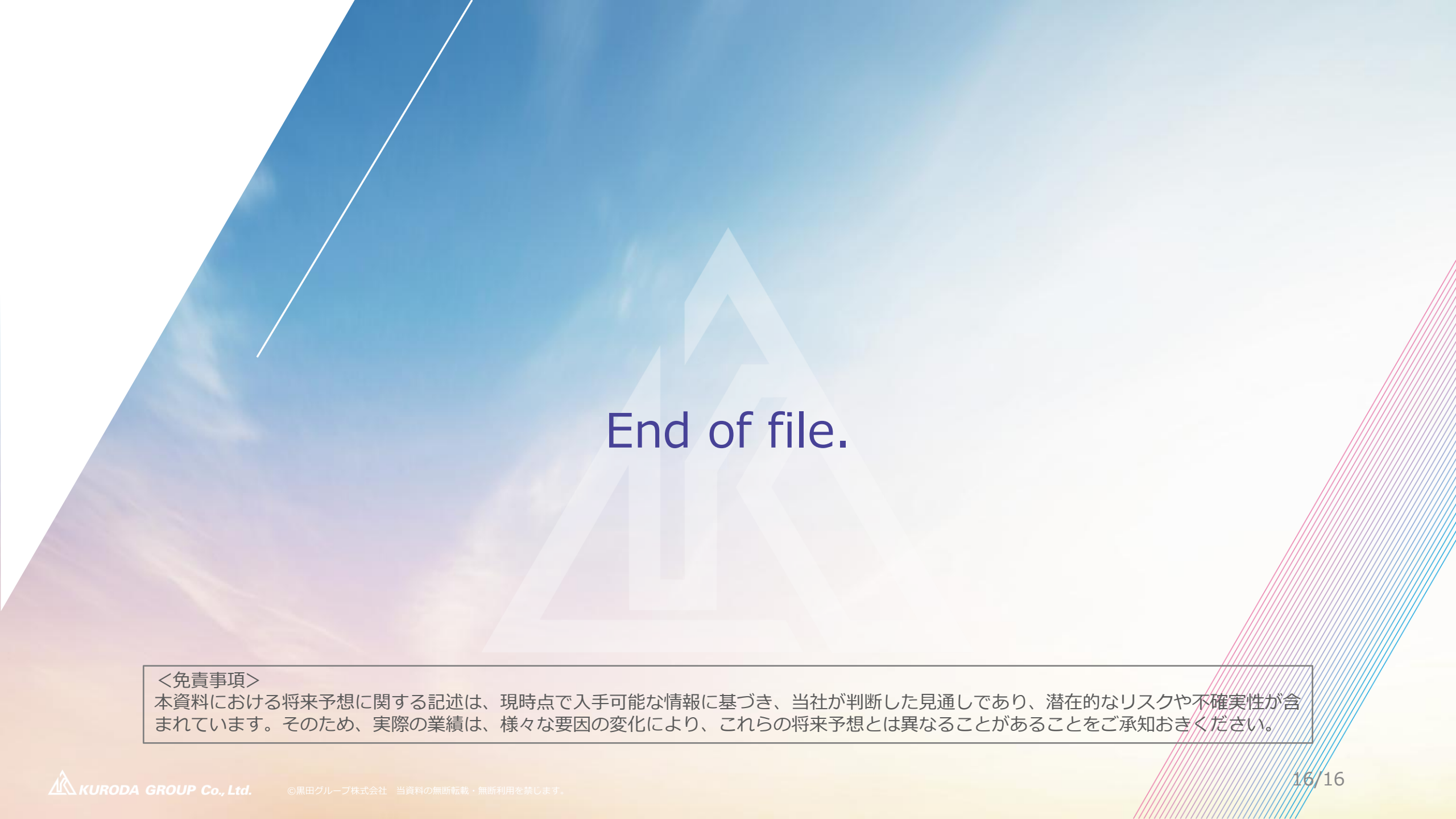
➤ 住所：〒632-0004 奈良県天理市櫟本町64-1

概況

【コンセプト】

本社・製造・開発・物流及び協力工場との
一体運営を開始し、新製品開発・販売を加速させる

- 2025年8月18日より稼働開始
 - ✓ 8月18日：物流業務開始
 - ✓ 10月1日：製造業務開始
- ICT強化と共に、製造・供給網を効率化



End of file.

<免責事項>

本資料における将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。